

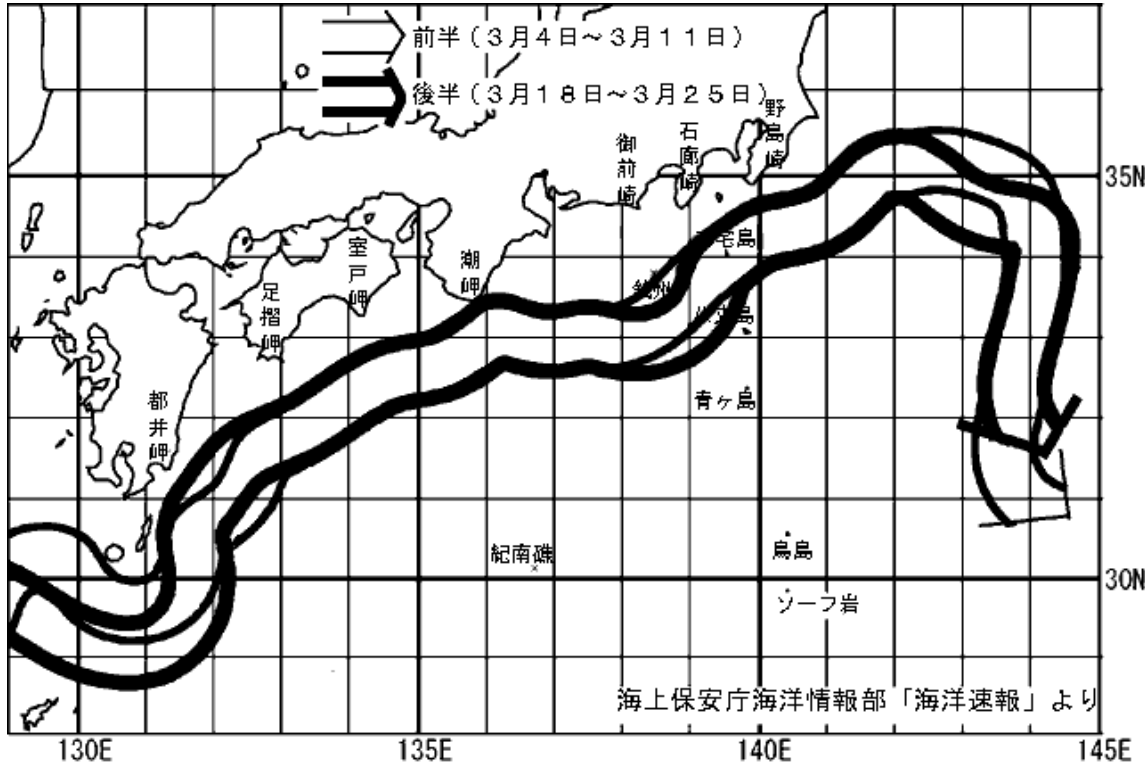
漁海況月報

平成20年3月1日

No. 3 ~ 3月31日

静岡県水産技術研究所
(電話 054-627-1815)

静岡県水産技術研究所伊豆分場
(電話 0558-22-0835)



【黒潮流路】

月前半の黒潮は、九州東岸では前月よりも接岸し、足摺岬から室戸岬にかけて離岸した後に33°N付近を東進した。その後、大きく離岸することなく八丈島の北を通り房総半島沖を北東に流去した。

月後半の黒潮は、九州東岸ではやや接岸したが、足摺岬から遠州灘にかけては前半と同様に流れた。その後、御前崎から石廊崎ではやや離岸し、八丈島付近を通り房総半島沖を北東に流去した。

【県下沿岸域】

県下の定地水温は、相模湾および駿河湾東部では12~17℃台、駿河湾西部では10~16℃台で経過した。

上旬においては、県下沿岸への暖水波及はなく各地ともやや低めから平年並みの水温で経過した。中下旬においては、相模湾および駿河湾に暖水が波及したことで、相模湾では平年並みからやや高め、駿河湾東部、西部ではやや高めで経過した。

【竿釣近海カツオ】

3月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海カツオの水揚量は102トで前年同期の48%であった。魚価は612円/kgで、前年同期を上回った。

上・中旬は22~27°N、135~150°Eで特々大~大カツオを主体に漁獲した。下旬は25~27°N、138~149°Eで特々大~小カツオを漁獲した。

竿釣近海カツオ水揚量 (県内主要5港)

期間	水揚量 (ト)	水揚 隻数	水揚/隻 (ト)	平均単価 (円/kg)
20年3月上旬	15	2	7.5	535
中旬	35	7	5.0	712
下旬	52	7	7.4	567
20年3月計	102	16	6.4	612
19年3月計	214	28	7.6	547
18年3月計	302	20	15.1	400

【定置網】

平成20年3月、伊豆半島東岸大型定置網8か統(伊豆山、古網、赤石、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚量は422トで、操業がなかった伊豆山、赤石を除く1漁場当たり水揚量70.3トンは前年22.5トンの312%、平年値(昭和57~平成19年)44.0トンの160%であった。

魚種別水揚量は、①カタクチイワシ292.8ト(A:前年同月比1917%、B:平年同月比474%) ②ブリ50.5ト(A:939%、B:294%) ③マアジ25.5ト(A:257%、B:25%) ④スルメイカ11.1ト(A:20%、B:52%) ⑤ホウボウ6.0ト(A:149%、B:334%) の順であった。

カタクチイワシは、北川、富戸、古網を中心に入網し、昭和57年以降で2番目に多く漁獲され、被鱗体長のモードは12.5cmであった。ブリは、川奈を中心に谷津、古網、

定地水温の旬平均値(℃) (下段は偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津	地頭方
上旬	13.2	14.0	13.2	14.3	13.6	13.9	11.1
	-0.4	-0.1	-0.4	-0.1	-0.6	0.5	-0.7
中旬	13.9	14.8	14.2	15.8	15.3	14.9	13.7
	0.1	0.5	0.2	1.0	0.6	1.0	1.3
下旬	15.1	15.5	15.1	16.6	16.1	15.6	14.6
	1.0	1.0	0.8	1.3	0.8	1.3	1.4
月	14.1	14.8	14.1	15.6	14.9	14.8	13.2
	0.3	0.5	0.1	0.8	0.1	0.9	0.7

北川、富戸にも入網し、昭和 57 年以降で 57、58 年に次いで 3 番目に多く漁獲された。尾叉長の中心は 76～80cm (モード 77 cm) であったが、漁獲時期により同程度の尾叉長でも個体重は 6～8kg と変化しており、平均で 7.5kg であった。マアジは古網、赤沢を中心に入網し、尾叉長のモードは 19cm であった。スルメイカは北川、富戸を中心に入網し、外套背長のモードは 21 cm と 24 cm にみられた。ホウボウは古網、川奈、北川を中心に入網し、昭和 57 年以降で 3 番目に多く水揚げされ、尾叉長のモードは 29 cm であった。

漁場別水揚量は、北川 121 トン (カタクチイワシ、ブリ、スルメイカ中心)、古網 83 トン (カタクチイワシ、ブリ、マアジ中心)、富戸 75 トン (カタクチイワシ、ブリ中心) の順であった。

【サバたもすくい棒受網】

小川港にはたもすくい・棒受網によって、マサバ 51 トン、ゴマサバ 1,058 トンが水揚げされた。たもすくいの漁場は三宅、ひょうたん瀬、大室出しに、棒受網の漁場は三宅島周辺海域に形成された。マサバについては、たもすくい・棒受網ともに尾叉長 35～36cm にモードがみられる群が漁獲の主体であった。ゴマサバについては、たもすくい・棒受網ともに尾叉長 25～26cm にモードがみられる 1 歳魚 (2007 年級群) と思われる群が漁獲の主体で、30cm を超えるものも混獲された。1kg 当たりの平均単価は、マサバで 464 円 (前年同月 181 円)、ゴマサバで 92 円 (前年同月 51 円) と堅調であった。

小川港 サバ類 (たもすくい・棒受網漁業) 水揚量

期 間	水揚量 (トン)	日数	延隻数	1 隻当り (トン)	漁 場
平成20年 上旬	517	6	13	39.8	三宅、三本
3月 中旬	337	5	13	25.9	三宅、三本、ひょうたん瀬
下旬	254	5	12	21.2	三宅、三本、大室出し
計	1,108	16	38	29.2	-----
平成19年3月	596	16	46	13.0	利島、大室出し、高瀬
平成18年3月	624	9	20	31.2	三宅、三本

* 水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

【シラス船曳網】

1 日 1 か統当りの水揚量は、駿河湾が 250kg、遠州灘が 491kg であった。主要 6 港平均の 1 日 1 か統当りの水揚量は 415kg と前年同期 (336kg) の 1.2 倍、平年同期 (過去 5 か年平均: 168kg) の 2.5 倍と前年及び平年同期を上回った。また、総水揚量も 379.8 トンで前年同期 (258.1 トン) の 1.5 倍、平年同期 (75.6 トン) の 5.0 倍と、前年及び平年を上回った。平均単価は 572 円/kg と平年同期 (803 円/kg) を下回った。

シラス水揚量 (主要 6 港)

漁 港	水揚量 (トン)	延日数	延統数	平均漁獲量 (kg/統)	平均単価 (円/kg)
新 居	26.1	6	68	384	471
舞 阪	183.6	6	243	755	420
福 田	60.9	6	162	376	622
御前崎	37.6	7	155	243	801
吉 田	31.6	6	147	215	836
静 岡	40	7	140	286	831
平成20年3月計	379.8		915	415	572
平成19年3月計	258.1		768	336	589
平成18年3月計	34.2		242	141	744

【まき網】

小川港ではマイワシが 57.3 トンの水揚げで平年同期 (16.4 トン) を大きく上回った。沼津港では、マイワシが 91.4 トンの水揚げで平年同期 (26.0 トン) の 3.5 倍であった。カタクチイワシの水揚げはなかった。静浦港ではカタクチイワシが 2.5 トンの水揚げで平年同期 (0.2 トン) の 12 倍であった。マイワシの水揚げはなかった。伊東港ではマイワシの水揚げはなかった。

注) 平年同期: 過去 5 か年 (2002～2006 年) 平均

【調査船の動向】

富 士 丸	3月27日	～	3月27日	ドックより回航	(1日間)
駿 河 丸	3月3日	～	3月4日	地先定線観測	(2日間)
	3月6日	～	3月7日	地先定線観測	(2日間)
	3月10日	～	3月10日	ドックへ回航	(1日間)
	3月28日	～	3月28日	ドックより回航	(1日間)

静岡県水産技術研究所のホームページ

パソコンからは…… <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは…… <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>

水産技術研究所のホームページでは、高精度で広範囲の海の様子が変わる、「関東・東海海況速報」の提供を行っております。意見、ご要望などありましたら、下記までお知らせ下さい



水産技術研究所 054-627-1817 (資源海洋研究室、普及室)

メールアドレス suishishizukanet.ne.jp